

次期多摩市交通マスタープラン策定委託 アンケート調査実施計画書

令和7年1月

<目次>

1. 市民・利用者ニーズの把握等	1
1-1 市民アンケート調査.....	1
1-2 中高生アンケート調査.....	3
1-3 路線バス利用者アンケート調査.....	5
1-4 ミニバス利用者アンケート調査.....	7

1. 市民・利用者ニーズの把握等

1-1 市民アンケート調査

1-1-1 実施概要

表 市民アンケート調査概要（案）

項目	概要
調査目的	市民の日常的な移動実態や地域公共交通の利用状況、新たなニーズを把握するとともに、現計画の検証を行うために「市民アンケート調査」を実施する
調査対象	18 歳以上の市民 3,000 人
実施時期	2025 年 1 月～3 月
調査方法	郵送配布・郵送回収（QR コードを活用した回収含む）
調査項目	◆日常生活の外出状況 ◆公共交通の利用状況 ◆運行内容に対する満足度 ◆公共交通に対する考え方 ◆自転車利用に関すること ◆回答者の属性

1-1-2 配布物

本調査では、下表の 3 種類の印刷物を作成、下表に示す①に②～③を封入・封緘した上で、無作為に抽出する対象者の宛名ラベルを貼付し、発送する。

表 配布物の概要

項 目	内 容
①配布用封筒	・角型 2 号サイズ
②アンケート調査票	・A4 サイズ、白黒、12 ページ程度 ※1 ページ目に挨拶文・調査依頼分を記載 ※WEB 回答用の QR コードを記載
③返信用封筒	・長型 3 号サイズ

1-1-3 把握項目

把握項目を下記のとおり整理した。

調査項目	集計・分析の例
◆日常生活の外出状況 - 目的別（通勤、通学、通院、買物等）の外出頻度、移動時間、移動手段、目的地 - 外出の変化（外出頻度、行き先）	市民の移動実態やニーズを把握し、現行の公共交通網・運行ダイヤと照らし合わせることで、移動実態やニーズとのズレや問題点を整理し、改善策を検討。
◆公共交通の利用状況 - 公共交通の利用有無、利用目的 - 公共交通の乗継利用状況 - 公共交通の乗継利用において重視すること	- 各公共交通の利用状況や改善要望等を把握し、公共交通サービスの役割分担や改善点を整理。 - また、公共交通の乗継状況等を把握し、連携方策の検討に活用。
◆公共交通の満足度 運行ルート、運行時間帯、運行本数、定時性、乗継、バス停、情報提供 など	サービスに対する満足度を把握し、運行内容の見直し検討に活用
◆回答者の属性 年齢、性別、世帯構成、居住地、免許保有、自動車保有、スマートフォン保有、ICカード保有	- 年齢や世帯構成は、高齢者や子育て世帯の集計時に活用 - 高齢者におけるデジタル技術への抵抗感を把握

1-1-4 スケジュール

表 スケジュール（案）

項目	期間
調査票の作成	1月14日（火）～17日（金）
調査票の確認・修正	1月20日（月）～1月27日（月）
委員へ事前配布	1月28日（火）
公共交通会議	2月4日（火）
調査票の修正	2月5日（水）～7日（金）
調査票の印刷・封入作業	2月10日（月）～19日（水）
調査票の発送	2月19日（水）
調査実施	2月20日（木）～3月3日（月）
集計・とりまとめ	3月4日（月）～14日（金）

1-2 中高生アンケート調査

1-2-1 実施概要

表 調査概要

項目	概要
調査目的	市民アンケートでは拾いにくい若年層の公共交通の利用状況を把握するとともに、主な交通手段が徒歩・自転車である中高生から自転車利用状況や走行環境への要望等を把握するために実施する。 また、通学以外における移動（塾や習い事など）に関する移動実態も把握し、若年層や子育て世代に対する支援策の検討に活用する。
調査対象	市立中学校、市内の高等学校
実施時期	2025 年 1 月～3 月
調査方法	WEB 回答 ホームルーム等の時間に調査依頼書（A4 サイズ 1 枚）を配布し、調査依頼書に掲載の QR コードを読み込んでもらい WEB 回答してもらうことを想定
調査項目	◆日常生活の移動実態 ◆自転車利用について ◆公共交通の利用状況 ◆公共交通に対する考え方 ◆回答者の属性

1-2-2 配布物

本調査では、下表の 1 種類の印刷物を作成、市に発送する。

表 配布物の概要

項目	内容
①調査依頼書	・A4 サイズ、白黒、片面 1 ページ

1-2-3 把握項目

調査項目	把握項目（概要）	集計・分析の例
移動実態	- 通学状況（居住地、時間帯、晴天時の通学手段、雨天時の通学手段） - 学校生活以外における外出状況（行き先、目的、頻度、移動手段）	中高生の移動実態を把握し、求められる公共交通サービスを検討する。
公共交通の利用状況	- 通学時における公共交通の利用状況（利用する路線、頻度等） - 通学で公共交通を利用する理由、利用しない理由 - 学校生活以外における公共交通の利用状況	- 通学における公共交通の利用状況、利用する理由を把握し、現時点で通学を支えている公共交通サービスを整理する。 - 公共交通を利用しない理由も把握し、中高生に対するサービス改善や利用促進策の検討に活用する。
公共交通に対する考え方	- 公共交通の改善点、改善した場合の利用意向 - 自動車（家族等による送迎）から公共交通に転換するための条件 - 公共交通サービスの充実度が進路選択に与える影響 - 公共交通利用のメリットのうち共感できるもの	- 満足度を把握し、若年層からみた公共交通の改善点を整理する。 - 公共交通サービスの充実度と進路選択の影響を把握し、公共交通が他分野に与える効果を整理する。 - 改善点や公共交通利用のメリットのうち共感できるものを把握し、若年層に向けた利用促進策の検討に活用する。

1-2-4 スケジュール

表 スケジュール（案）

項目	期間
WEB 回答フォームの作成	1 月 14 日（火）～17 日（金）
WEB 回答フォームの確認・修正	1 月 20 日（月）～1 月 27 日（月）
委員へ事前配布 ※WEB フォームを PDF データにしたものを送付	1 月 28 日（火）
公共交通会議	2 月 4 日（火）
WEB 回答フォームの修正	2 月 5 日（水）～7 日（金）
WEB 回答フォームの確認 ※校長先生への確認含む	2 月 10 日（月）～17 日（月）
調査依頼書の配布	2 月 19 日（水）頃
調査実施	2 月 20 日（木）～3 月 3 日（月）頃
集計・とりまとめ	3 月 4 日（月）～14 日（金）

1-3 路線バス利用者アンケート調査

1-3-1 実施概要

表 調査概要

項目	概要
調査目的	路線バスの利用状況・利用実態を把握し、特にシルバーパス利用者数を把握することで「実態に近い利用者数」を整理し、維持すべき路線の活用に検討するため実施する。
調査対象	市内を運行する路線バス利用者
実施時期	2月●日(●) 12時～21時 ※調整中
調査方法	聖蹟桜ヶ丘駅・永山駅・多摩センター駅のバスロータリーに調査員を配置し、バス利用者に対して調査票(QRコード付き)を配布する。
調査項目	◆利用状況 ◆利用者からの評価 ◆回答者の属性

1-3-2 配布物

本調査では、下表の2種類の印刷物を作成、下表に示す①に②～③を封入・封緘した上で、無作為に抽出する対象者の宛名ラベルを貼付し、発送する。

表 配布物の概要

項目	内容
①配布用兼返信用封筒	・長型3号サイズ
②アンケート調査票	・A4サイズ、白黒、4～8ページ程度 ※WEB回答用のQRコードを記載

1-3-3 把握項目

表 把握項目

調査項目	把握項目（概要）	集計・分析の例
利用状況	・利用した路線名称、利用時間帯、乗降場所 ・往復利用の有無、利用目的、利用頻度 ・その他公共交通の利用状況、乗継状況等	・利用区間や目的等を把握し、各交通サービスが担っている役割を整理する。
利用者から評価	・運行内容（ダイヤ、ルート等）に対する評価・改善意見 ・公共交通を利用するメリット 等	・利用者が感じているメリット等を把握し、利用促進策の検討に活用する。
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無、自動車の利用状況等	・年代別集計等に活用する。 ・市民以外による利用状況を把握する。

1-3-4 スケジュール

表 スケジュール（案）

項目	期間
調査票の作成	1月14日（火）～17日（金）
調査票の確認・修正	1月20日（月）～1月27日（月）
委員へ事前配布	1月28日（火）
公共交通会議	2月4日（火）
調査票の修正	2月5日（水）～12日（水）
調査票の印刷・封入作業	2月13日（木）～20日（木）
調査実施	2月25日（火）～2月28日（金）で調整中
回答〆切	3月7日（金）
集計・とりまとめ	3月10日（月）～21日（金）

※ミニバス利用者アンケート調査と同日に実施

1-4 ミニバス利用者アンケート調査

1-4-1 実施概要

表 調査概要

項目	概要
調査目的	ミニバスの利用状況や利用者の要望等を把握するために実施する
調査対象	ミニバス利用者
実施時期	2月●日(●)※調整中
調査方法	調査員がミニバス全便に乗り込み、利用者に対して、調査票(QRコード付き)を配布する。
調査項目	◆利用状況 ◆利用者からの評価 ◆回答者の属性

1-4-2 配布物

本調査では、下表の2種類の印刷物を作成、下表に示す①に②～③を封入・封緘した上で、無作為に抽出する対象者の宛名ラベルを貼付し、発送する。

表 配布物の概要

項目	内容
①配布用兼返信用封筒	・長型3号サイズ
②アンケート調査票	・A4サイズ、白黒、4～8ページ程度 ※WEB回答用のQRコードを記載

1-4-3 把握項目

把握項目を下記のとおり整理した。

表 把握項目

調査項目	把握項目（概要）	集計・分析の例
利用状況	・利用した路線名称、利用時間帯、乗降場所 ・往復利用の有無、利用目的、利用頻度 ・その他公共交通の利用状況、乗継状況等 ・代替交通手段の有無 ・ミニバスが運行しない場合の生活の変化	・利用区間や目的等を把握し、各交通サービスが担っている役割を整理する。 ・代替交通手段の有無やミニバスが運行しない場合の変化を把握し、各路線の必要性を確認する。
利用者から評価	・運行内容（ダイヤ、ルート等）に対する評価・改善意見 ・公共交通を利用するメリット 等	・利用者が感じているメリット等を把握し、利用促進策の検討に活用する。
回答者の属性	・性別、年齢、職業、居住地 ・運転免許の有無、自動車の利用状況等	・年代別集計等に活用する。 ・市民以外による利用状況を把握する。

1-4-4 スケジュール

表 スケジュール（案）

項目	期間
調査票の作成	1月14日（火）～17日（金）
調査票の確認・修正	1月20日（月）～1月27日（月）
委員へ事前配布	1月28日（火）
公共交通会議	2月4日（火）
調査票の修正	2月5日（水）～12日（水）
調査票の印刷・封入作業	2月13日（木）～20日（木）
調査実施	2月25日（火）～2月28日（金）で調整中
回答〆切	3月7日（金）
集計・とりまとめ	3月10日（月）～21日（金）

※路線バス利用者アンケート調査と同日に実施